

令和7年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立江之子島文化芸術創造センター	指定管理者：enoco 文化創造プロジェクト	指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日	所管課：府民文化部 文化・スポーツ室 文化課
-------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------

評価項目 ＜評価基準＞	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S～C		S～C	
<b>I 提案の履行状況に関する項目</b> (1) 施設の設置目的及び管理運営方針 ＜評価基準とすべき事項＞ ・施設の設置目的に沿った運営 ・提案された管理運営方針に沿った管理 ・社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組み	■府立江之子島文化芸術創造センター（以下、「enoco」）の設置目的に基づき、設立背景やこれまでの実績を踏まえた管理運営を遂行し、文化芸術拠点の機能強化を図れているか。  ■令和7年度の事業計画の管理運営方針及び重点方針のとおり、取り組んでいるか。  ■運営目標で活動の三本柱として掲げている「現代美術の振興」、「交流・活動・協働機会の創出」、「次世代への継承・発展」に基づいた運営ができているか。  ■施設での年間を通しての状況を把握すると共に良好な管理運営がなされているか。また、enocoならではの場づくりと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供できているか。  ■enoco の管理運営を通して、社会貢献活動、環境活動、法令順守の取り組みができているか。	■「enoco 文化創造プロジェクト」が指定管理者として enoco の運営に関わり 4 年目を迎え、enoco 設立の背景やこれまでの実績を踏まえた enoco 独自の管理運営業務を遂行し、文化芸術拠点としての機能強化を図ることで、文化芸術を享受する基盤を拡大し、あらゆる人々が文化を通じて、いきいきと活動できる都市をめざし「現代美術の振興（connection）」、「交流・活動・協働機会の創出（communication）」、「次世代への継承・発展（cocreation）」の3本柱を掲げ、以下の事業を実施してきた。  ■令和7年度の重点方針 ア 収集作品について、年間2,000点を目標にコンディションチェックの実施に努めた。 イ 若手の育成をめざした事業を実施し、公益財団を中心に助成金の申請をし、採択をめざした。 ウ 自主企画展において、助成金事業へ応募し、その採択により収支の改善を図った。  ■運営目標について 「現代美術の振興（connection）」 ・企画展を2回実施した。 ・enoco YouTube チャンネルにて、収集コレクションの広報と若手アーティストのプロモーションに努めている。  「交流・活動・協働機会の創出（communication）」 ・アーティスト・イン・レジデンスや企画展などのイベント時に関係機関と連携を図った。 ・サイエンス・アート作品について、作家本人が作品の修復を enoco の施設内で実施した。 ・ルーム9年間利用者の矢内原研究所と収集コレクションの鑑賞会を実施した。 ・大学からの学芸員実習の受け入れや海外大学との交流、「イケフェス大阪2025」への参加、タレントを使ったワークショップなどの実施等積極的な交流活動に努めた。 ・2月に、収集コレクション作家による大人のためのワークショップを実施した。  「次世代への継承・発展（cocreation）」 ・対話型鑑賞「見て・みて・エノコレ！」の実施 近隣の小学生や支援学校を対象に、収集コレクションを活用した対話型鑑賞会を実施した。 ・「こどもアーツカレッジ2025」の実施 若手アーティストが講師となり、小学生を対象としたワークショップを実施。 また、2026年3月に、子ども達の制作した作品と講師の作品を展示する展覧会を開催予定。 ・施設見学の実施 児童を受け入れ、4階のライブラリーや展覧会の見学、enoco についての質疑応答を行った。 ・「アートな自習室 こどもミートルーム」 子どもたちが“アート”に触れ合う機会を創出した。  ■主体的な創造活動と交流の機会の提供 ・「アートな自習室 こどもミートルーム」 地下の多目的ルームを土日祝日に、自習室として開放し、アートを通じた子どもたちの居場所づくりを創出した。  ■社会貢献活動、環境活動、法令順守 ・防災設備の確認や避難通路の確保など消防法に違反がないか常にチェックを心がけている。 ・館内スタッフに向けたコンプライアンス研修を実施し、法令遵守の意識啓発に努めている。	A	・センター設立の背景やこれまでの実績を踏まえ、文化芸術拠点の機能強化をめざした事業計画のもと、運営を行っている。また、昨年度から引き続き、現代美術に関心がない人に関心を持ってもらえるよう、他の分野とのコラボレーションをするなど、新たな取り組みを推進している。  ・重点方針について、事業計画に基づき取り組むことができている。  ・運営目標に即した形で、事業を実施し、目標達成に資する運営をできている。	A	
			(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果 ＜評価基準とすべき事項＞ ・公平なサービス提供、対応 ・障がい者・高齢者等への配慮		■enoco 利用者が公平に利用できるように、内規やマニュアルを整備し、適正に運営を行っているか。  ■障がい者、高齢者等に対する配慮や利用援助が適切になされているか。	

<p>I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目</p>	<p>(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加のための工夫</li> <li>・利用者数</li> <li>・利用者満足度調査結果（総合満足度の前回調査との比較等）</li> </ul>	<p>■主催事業及び貸館事業において、これまで enoco を利用していなかった人たちに、新たに enoco を利用していただけるような運営を行っているか。</p> <p>■アンケート結果を利用するなど、センターの利用者等が増加するような取り組みを行っているか。</p> <p>■enoco の認知度向上及び利用者増加のために、ホームページ・SNS・紙媒体等の様々な媒体を使用し、ユーザー層を鑑みた効果的な広報ができていますか。</p> <p>■誰にでも分かりやすい言葉を用いた広報に努めているか。</p>	<p>■主催事業</p> <p>◇主催企画展</p> <p>これまで enoco に来館したことがないような層にも訴求できるような展覧会を実施した。</p> <p>【黒田大スケ「天幕のためのプラクティス」（以下、「黒田大スケ展」）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 作家・黒田大スケが、天岡均一ら大阪ゆかりの彫刻家 9 名をリサーチし、黒田氏自らが彼らを演じる映像作品と立体造形を制作した。また、収蔵コレクションから浅野竹二や須田剋太の作品も並べ、かつての「大大阪」の面影を伝えた。</li> <li>・期間 4月12日(土)から6月1日(日)</li> <li>・関連事業 松岡剛氏（広島市現代美術館主任学芸員）との対談、大阪の彫刻と歴史をめぐるツアー、アーティストトークを実施。</li> <li>・動員数 813名（アンケート回収456枚）</li> </ul> <p>【「Re:boot ひかりの再起動・セビリア万博の記憶～大阪府 20 世紀美術コレクションによるサイエンス・アート展～」（以下、「サイエンス・アート展」）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 大阪・関西万博の開催に合わせて、収蔵コレクションの中から、1992 年セビリア万博の日本パビリオンで出展された作品を展示した。</li> <li>・期間 8月9日(土)から9月6日(土)</li> <li>・関連事業 作家5名が参加するトークイベントや、ワークショップを実施。</li> <li>・動員数 954名（アンケート回収481枚）</li> </ul> <p>◇その他の主催事業</p> <p>【アーティスト・イン・レジデンス Vol. 3 enoco short stay art program(ESSAP)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 enoco を文化芸術の拠点として更に充実させ、人との、芸術が行き交う場づくりにより地域の活性化をめざし、レジデンス事業を実施。 3回目である今回は、大阪・関西万博開催に合わせて、関西に限定せず全世界から募集した。</li> <li>・レジデンスアーティスト 易雅静（い がせい）（中国）</li> <li>・内容 若手アーティストに無償で創作拠点や宿泊施設を提供（6月：オープンスタジオ） 成果発表（7月：成果展・トークイベント） 成果記録冊子の発行（12月：今年度は英訳付きにて作成）</li> </ul> <p>【こどもアーツカレッジ 2025】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 ”コミュニケーションで広がる“をテーマに、さまざまなジャンルの若手アーティストを講師に迎え「かんがえる」「つくる」にチャレンジするワークショップを実施した。</li> <li>・実施内容 10月から1月にかけて毎月1回開催。定員：各12名(午前・午後)、参加費：2,000円。</li> <li>・展覧会 ワークショップの成果作品と、講師の作品を同時に展示。3月に実施予定。</li> </ul> <p>■認知度向上のための広報活動</p> <p>【「情報紙」の発行】</p> <p>4月に enoco 情報紙 Vol. 5 を発行し、大阪府の施設、プレス 968 か所に送付。また、Facebook ほか SNS で告知し、HP 上で閲覧できるように対応した。</p> <p>【「見て・みて・エノコレ！通信」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要 収蔵コレクション作家とその作品、関西の若手アーティストを紹介する動画を、enoco YouTube チャンネルにて配信し、収蔵コレクションの広報と若手アーティストのプロモーションに努めている。</li> <li>・配信内容・予定数 内容：9月の配信ではサイエンス・アート展を紹介し、enoco の企画展示のアピールに努めた。 本数：5本（予定）</li> </ul>	<p>A</p> <p>・企画展について 黒田大スケ「天幕のためのプラクティス」では、enoco を利用していなかった層にアプローチできる作家とのコラボを行い、新たな客層の開拓に努めている。 また、府内の立体作品を実際に見て回る等の施設内での活動に囚われない形でのイベントにも取り組んでいる。</p> <p>サイエンス・アート展では、大阪・関西万博の開催に合わせて、万博にゆかりのある作品に着目し、「再起動」というタイトルに合うような形で展示を実施し、作家本人たちが携わるイベントにも取り組んでいる。</p> <p>・次世代のアーティストの支援や子どもを含む若い世代に遡及できるようなイベントを実施している。</p>	<p>A</p>
--	--	---	--	--	----------

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目	<p>(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加のための工夫</li> <li>・利用者数</li> <li>・利用者満足度調査結果（総合満足度の前回調査との比較等）</li> </ul>	<p>【目標値】</p> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <p>◇来館者数延べ 125,000 人 令和6年度 実績:119,712人 目標:120,000人</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 1,300 件 令和6年度 実績:1,352件 目標:900件</p> <p>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 700 件 令和6年度 実績:724件 目標:400件</p> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <p>◇ルーム1～4（展示室）貸館利用率 目標60% 令和6年度 実績:59.6% 目標:60%</p> <p>◇ルーム5～12（多目的室）貸館利用率 目標60% 令和6年度 実績:54.6% 目標:60%</p> <p>&lt;利用者満足度調査(アンケート)関連&gt;</p> <p>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 600 以上。 令和6年度 実績:912件 目標:450件以上 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 令和6年度 実績:94% 目標:80%以上</p> <p>◇貸館関連アンケート有効回答数 100 以上。 令和6年度 実績:100件 目標:90件以上 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 令和6年度 実績:96% 目標:80%以上</p> <p>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。 令和6年度 実績:154件 目標:90件以上 アンケートの結果 プラス評価 80%以上 令和6年度 実績:94% 目標:80%以上</p> <p>&lt;認知度向上(広報)関連&gt;</p> <p>◇web サイト全体の総セッション数 120,000 回/年 令和6年度 実績:134,359回/年 目標:110,000回/年</p> <p>◇メールニュース配信者数 2,500 件(者) 令和6年度 実績:2,131件 目標:2,500件</p> <p>◇Facebook のフォロワー数 3,700 件 令和6年度 実績:2,131件 目標:2,500件</p> <p>◇X のフォロワー数 2,200 件 令和6年度 実績:2,075件 目標:2,200件</p> <p>◇Instagram のフォロワー数 2,000 件 令和6年度 実績:1,731件 目標:2,000件</p> <p>◇SNS 配信回数 100 回/年（イベント関連以外） 令和6年度 実績:2,131件 目標:2,500件</p> <p>◇SNS 配信回数(イベント告知)220 回/年 令和6年度 実績:114回/年 目標:70回/年</p> <p>◇SNS 配信回数(イベント状況等配信)220 回/年</p> <p>◇メディア(WEB 含む掲載数) 250 媒体以上/年 令和6年度 実績:367媒体 目標:240媒体</p>	<p>【メディア・SNS 等による広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「サイエンス・アート展」取材 朝日新聞の取材を受け、8月24日にWEB版、8月26日に大阪版紙面にて掲載</li> <li>・ケーブルチャンネル Baycom「週刊 Bay ニュース」 告知依頼を行い、近隣地域への訴求に努めた。</li> <li>・PRTIMES や ArtSticker、Koub 等 メールニュースや各自主事業に適した総合サイトへの依頼を行い、宣伝・告知を行っている。</li> <li>・ターゲットを絞った SNS の活用・告知 Instagram は若い世代(10～30代)、Facebook は(40～60代)をターゲットとし、事業実施の際は網羅的に告知を行った。 特に、Instagram において、投稿タイミングや頻度、デザインに工夫を凝らしている。</li> <li>・貸室利用者の事業によるメディア露出 貸室利用者による注目度の高い展示が地上波テレビや一般紙などで取り上げられ、enoco の知名度向上に寄与した。また、enocoWEB サイト全体の総セッション数も飛躍的に伸びた。 ※「HIRO KIMURA 展」 : 6,063 人(7月15日から20日) 「大阪・関西万博デザイン展」 : 52,308 人(10月1日から19日) ※その期間の来館者数</li> </ul> <p>【実績値】12月末現在(( )内は、目標値)</p> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <p>◇来館者数延べ 158,208 人 (125,000 人) 達成率:127%</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 1,090 件 (1,300 件) 達成率:84%</p> <p>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 616 件 (700 件) 達成率:88%</p> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <p>◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 49.4% (60%)</p> <p>◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 62.8% (60%)</p> <p>&lt;利用者満足度調査(アンケート)関連&gt;</p> <p>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 993 (600 以上) 達成率:166% アンケートの結果 プラス評価 87%(80%以上)</p> <p>◇貸館関連アンケート有効回答数 78 (100 以上) 達成率:78% アンケートの結果 プラス評価 98%(80%以上)</p> <p>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 達成率:78% (参加者の8割以上) アンケートの結果 プラス評価 94% (80%以上)</p> <p>&lt;認知度向上(広報)関連&gt;</p> <p>◇web サイト全体の総セッション数 累計 194,292 回 (120,000 回) 達成率:162%</p> <p>◇メールニュース配信者数 平均:2,204 件 (2,500 件) 達成率:88%</p> <p>◇Facebook のフォロワー数 平均:3,550 件 (3,700 件) 達成率:96%</p> <p>◇X のフォロワー数 平均:2,138 件 (2,200 件) 達成率:97%</p> <p>◇Instagram のフォロワー数 平均:2,018 件 (2,000 件) 達成率:101%</p> <p>◇SNS 配信回数 累計 119 回 (100 回/年(イベントのPRは別途実施)) 達成率:119%</p> <p>◇メディア(WEB 含む掲載数) 累計 256 媒体 (250 媒体以上) 達成率:102%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展について、様々な媒体を活用した広報活動を実施している。 また、広報媒体や SNS の特性に合わせた、効果的な発信を行い、認知度向上に努めている。</li> </ul> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <p>来館者数は、過去最高の入館者数を達成している。 特に集客力の高い貸室イベントが実施され、enoco を知らなかった層に対する認知度が格段に上がっている。 来年度も引き続き、来館者数等の増加に繋がるよう、効果的な広報を行うとともに、より魅力のある事業内容としていただきたい。</p> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <p>多目的ルーム1～4については目標値を下回っているが、多目的ルーム5～12については目標値を上回っている。 収支にも直結することから、効果的な広報活動を通じて利用率の向上に努めていただきたい。</p> <p>&lt;利用者満足度調査(アンケート)関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主催展覧会関連アンケート」は、目標値を上回っているが、「貸館関連アンケート」は、有効回答数が下回っているため、目標達成に努められたい。</li> <li>・「子どもを対象としたイベント関連アンケート」は、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っているため、達成率について3月に実施する子どもアーツカレッジの展覧会等を通じ、目標達成に努められたい。</li> </ul> <p>&lt;認知度向上(広報)関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総セッション数は、目標値を大きく上回っている。</li> <li>・メールニュース配信者数や SNS フォロワー数について、目標値達成に努めていただきたい。</li> <li>・「SNS 配信回数」については、目標値を上回っている。</li> <li>・今年度は万博デザイン展でメディア等への施設名の露出が多く、来館者の増加に大きく寄与していたので、取り組みを継続していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は集客力の高い貸館利用の展覧会により、enoco の認知度が向上した。今後もこの教訓を生かし、公的な文化芸術拠点であるという特性を生かしつつ、来館者の耳目を引くような企画を行うことで、認知度を向上させるべき。</li> </ul>
--	--	--	---	---	--

<p>I 提案の履行状況に関する項目</p>	<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的なプログラムの開発</li> <li>接遇研修実施回数・参加者数</li> <li>提案された利用時間延長等の実施状況</li> </ul>	<p>「現代美術の振興」</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■作品の適切な管理を行っているか。また、展示・貸出の際は、作品保護についても考慮し、展示・貸出を行っているか。</li> <li>■コレクションについて、定期的に点検・清掃を行い、修復等が必要な場合は記録及び報告を行っているか。</li> <li>■コレクションについて、順次、現物と台帳の確認を行い、破損等について記録及び報告を行っているか。</li> </ul> <p>【目標値（コレクション保管・管理関連）】</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 2,000点/年</p> <p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■美術館・大学・地域・産業界等と連携し、様々な場所での展示機会を創出し、コレクションを活用しているか。</li> <li>■enoco 内での展示をはじめ、府関連施設・美術館・公共施設・民間企業等の多くの人々が利用する場所にコレクションを貸し出し、府民にコレクションの鑑賞機会を提供できているか。</li> <li>■ICT を活用した新たな鑑賞方法の導入等、様々な手法を用いてコレクションを活用できているか。</li> <li>■展示作品等、活用の状況を enoco ホームページ等で発信できているか。</li> <li>■これまでに展示や貸出を行ったことがないコレクションを積極的に活用できているか。</li> </ul> <p>【目標値（コレクション活用関連）】</p> <p>◇活用点数 1,300 点以上</p> <p>◇企画展 2 回以上/年</p>	<p>「現代美術の振興」</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管している収蔵コレクションに保険をかけ、適切な保管・管理に努めている。</li> <li>・学芸員の常勤 2 名の配置に加え、過去の経緯を知る学芸員を非常勤で配置。</li> <li>・展示、貸出しの際には、展示条件を確認する等、作品保護についても考慮している。</li> <li>・長期貸出作品の状態確認を実施（大阪国際がんセンターなど）。</li> <li>・コレクションの現物と台帳の確認について、四半期毎に記録や報告を適正に行った。</li> <li>・大阪府の活用活性化事業への協力を行った。</li> </ul> <p>【実績値（コレクション保管・管理関連）】 12 月末現在（（）内は、目標値）</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 739 点（2,000 点）達成率：31.3%</p> <p>《コレクションの活用》</p> <p>◇外部貸出（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートな病院プロジェクト 大阪国際がんセンターと連携し、院内におけるコレクションの管理や掛け替え、案内パンフレットの制作等を行うプロジェクトを実施。 コレクション作品展示数：105 点(12 月末現在) ※2 月展示替え（作品数 66 点）を予定</li> <li>・その他</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1062 678 1748 831"> <thead> <tr> <th>展示場所</th> <th>展示数(点)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本生命病院</td> <td>常時 2</td> <td>年 6 回展示替え</td> </tr> <tr> <td>ANA 大阪国際空港(伊丹空港)</td> <td>常時 6</td> <td>年 2 回展示替え</td> </tr> <tr> <td>大阪労災病院</td> <td>常時 8</td> <td>年 1 回展示替え</td> </tr> <tr> <td>株式会社大洋工芸/初田製作所</td> <td>常時 5</td> <td>年 4 回展示替え</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他、ホテル・府立施設・府庁内等に展示</p> <p>◇外部貸出（新規）</p> <table border="1" data-bbox="1062 919 1872 1041"> <thead> <tr> <th>展示場所</th> <th>展示数(点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京阪大江橋駅</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Osaka Metro 千日前線野田阪神駅</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>JR 東西線(大阪天満宮駅・大阪城北詰駅・海老江駅)</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇他施設展覧会・イベント等への貸出（短期）</p> <table border="1" data-bbox="1062 1100 1872 1373"> <thead> <tr> <th>展示場所</th> <th>展示数(点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東大阪市民美術センター 企画展</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>OSAKA INTERNATIONAL ART 2025</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大阪にぎわい創出事業「OSAKA ART VIBES」</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>芦屋市立美術館特別展</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>大阪中之島美術館</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大阪府 20 世紀美術コレクション BORDERLESS 展</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>八尾市立総合体育館</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大阪証券取引所</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田大スケ展 8 点</li> <li>・サイエンス・アート展 19 点</li> </ul> <p>◇新たな鑑賞方法・HP 上での発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・enocoHP から、大阪府事業のデジタルアーカイブ等に訪れるように設定。</li> <li>・enoco ホームページにて展示作品等、活用の状況を発信。</li> </ul> <p>【実績値（コレクション活用関連）】 12 月末現在（（）内は、目標値）</p> <p>◇活用点数 1,216 点（1,300 点以上） 達成率：94%</p> <p>◇企画展 2 回（2 回以上）</p>	展示場所	展示数(点)	備考	日本生命病院	常時 2	年 6 回展示替え	ANA 大阪国際空港(伊丹空港)	常時 6	年 2 回展示替え	大阪労災病院	常時 8	年 1 回展示替え	株式会社大洋工芸/初田製作所	常時 5	年 4 回展示替え	展示場所	展示数(点)	京阪大江橋駅	1	Osaka Metro 千日前線野田阪神駅	1	JR 東西線(大阪天満宮駅・大阪城北詰駅・海老江駅)	6	展示場所	展示数(点)	東大阪市民美術センター 企画展	86	OSAKA INTERNATIONAL ART 2025	1	大阪にぎわい創出事業「OSAKA ART VIBES」	9	芦屋市立美術館特別展	3	大阪中之島美術館	1	大阪府 20 世紀美術コレクション BORDERLESS 展	26	八尾市立総合体育館	2	大阪証券取引所	3	<p>A</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクションについて、適切な保管・管理に努めている。収蔵庫の空調運転状況等についても、適正に報告を行い、課題事項については府と連携し、適切に対応を行っている。</li> <li>・コレクションの現物と台帳の確認については、次年度以降も府と協議を行いながら、計画的に進めていただきたい。</li> <li>・府事業と連携して、コレクションの点検、修復に関する業務に取り組むことができている。</li> </ul> <p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示の継続だけではなく、貸出先と連携を深め、展示替えを積極的に実施できている。</li> <li>・芦屋市立美術館、大阪中之島美術館等の文化施設に限らず、様々な民間施設でのコレクション展示を実現することができている。</li> <li>・府事業と連携した業務に取り組むことができている。</li> </ul> <p>◇活用点数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用点数については、目標値を上回る見込みである。</li> <li>・企画展実施についても、目標値を達成している。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のコンディションチェックにあたって、学芸員の負担を勘案した労務管理をすべき。また、指定管理者だけでなく、府でも進捗管理を行っていくことが必要。</li> </ul>
	展示場所	展示数(点)	備考																																											
日本生命病院	常時 2	年 6 回展示替え																																												
ANA 大阪国際空港(伊丹空港)	常時 6	年 2 回展示替え																																												
大阪労災病院	常時 8	年 1 回展示替え																																												
株式会社大洋工芸/初田製作所	常時 5	年 4 回展示替え																																												
展示場所	展示数(点)																																													
京阪大江橋駅	1																																													
Osaka Metro 千日前線野田阪神駅	1																																													
JR 東西線(大阪天満宮駅・大阪城北詰駅・海老江駅)	6																																													
展示場所	展示数(点)																																													
東大阪市民美術センター 企画展	86																																													
OSAKA INTERNATIONAL ART 2025	1																																													
大阪にぎわい創出事業「OSAKA ART VIBES」	9																																													
芦屋市立美術館特別展	3																																													
大阪中之島美術館	1																																													
大阪府 20 世紀美術コレクション BORDERLESS 展	26																																													
八尾市立総合体育館	2																																													
大阪証券取引所	3																																													
		<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応し、質の高いサービスの提供に努めているか。</li> <li>■割引サービスなども含め、わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的な広報を行い、新規利用者の開拓を含め、より幅広い層が利用できるよう促進に努めているか。</li> </ul>	<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の顧客開拓につなげるため「若年層割引」を実施。</li> <li>・利用者のイベント、展覧会スケジュール、展示会の様子を HP・Instagram にて紹介し、広報宣伝に協力。</li> <li>・メールニュースを月 1 回発行しイベントや貸館利用について紹介。</li> <li>・HP の施設概要・フロアガイド内にて「360° VR 案内」を活用。</li> </ul>	<p>A</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ルームの貸出しについて、アンケート結果を活用するなど質の高いサービスの提供に努めている。</li> </ul>	<p>A</p>																																									

<p>I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 する 項 目</p>	<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的なプログラムの開発</li> <li>接遇研修実施回数・参加者数</li> <li>提案された利用時間延長等の実施状況</li> </ul>	<p>■適正な減免を行っているか。</p> <p>■幅広い文化芸術に関する情報収集・情報発信ができています。</p> <p>■多様な人・組織、府内市町村等からの文化芸術に関する相談に対し、アドバイスや情報提供等を行うワンストップ窓口を設置し、適切に運用できているか。また、ワンストップ窓口に関して、効果的な周知・広報ができています。</p> <p>■センター周辺の地域と連携しながら、地域に開かれた施設となり、住民に身近に感じられる施設運営ができています。</p> <p>■enoco のファンづくりに努めているか。</p>	<p>■利用促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HPに「よくある質問 (FAQ)」欄を設け、対応している。</li> <li>利用者満足度に資するよう、利用者意見に可能な範囲で柔軟に対応するよう努めている。</li> <li>チラシやフライヤーについて、各事業にあった書体や色彩、構成に留意し、制作を行っている。</li> <li>HPでの文化・芸術相談窓口への問い合わせが容易となるよう環境を整えている。</li> <li>幅広い相談へ対応できるよう、会場・イベント・関係機関等の情報収集に柔軟に取り組んでいる。</li> <li>毎週日曜日、翌週の多目的ルームのスケジュールの空き状況を SNS にて配信している。</li> </ul> <p>■適正な減免について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料の減免について館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価し、厳正に審査を実施。</li> </ul> <p>&lt;全額減免&gt;計1件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪特別支援教育小学校造形教育研究会「第46回子どもたちの讃歌展」</li> </ul> <p>&lt;半額減免&gt;計4件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府福祉部 高齢介護室 介護支援課地域支援グループ「大阪府シニア美術展」</li> <li>(一財)大阪府地域福祉推進財団「大阪府シニア展」</li> <li>HOSPITAL ART from GALLERY「ひといろプロジェクト」</li> <li>石川文子(大阪市立東洋中学校校長、大阪市立中学校教育研究会美術部)「第47回 造形展 兼 第66回 近畿中学校美術展」</li> </ul> <p>■情報収集・情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報紙「enocoVol. 5」を4月に発行</li> <li>enoco YouTube チャンネルにて「見て・みて・エノコレ! 通信」を5本配信。企画展や収蔵コレクション、若手アーティストの紹介などを配信。(再掲)</li> <li>事業実施の際には、ターゲットを絞り SNS 等を活用し告知を行っている。(再掲)</li> </ul> <p>■ワンストップ窓口「エノコンシェルジュ〜そうだ enoco に聞いてみよう〜」</p> <p>相談件数：12件 (12月末時点)</p> <p>相談事例 (抜粋)</p> <p>実績：enoco のワークショップ参加者</p> <p>内容：「エノコハッピーキャンパス」参加者より、自分の作品の展覧会を実施したい。</p> <p>➡当施設であれば、U20 割引きで使用料が半額になることを説明し、当施設での実施を提案。</p> <p>ルーム3にて、11月18日(火) から23日(日・祝)で実施。</p> <p>■住民に身近に感じられる施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エノコ de 縁日」</li> </ul> <p>屋外北側スペースの活用として、近隣の家族連れが気軽に参加できるイベントを8月に実施。</p> <p>「縁日」に模した屋台を放課後等デイサービス運営会社協力のもと、発達が穏やか・人との関わりの苦手といった子どもたちが運営することで、他者との交流を図り、個々の生活力や社会への適応力等を高める機会の創出に寄与した。</p> <p>また、地下スペースで収蔵コレクションを活用し、芸術を身近に感じ触れてもらう催しも行った。</p> <p>参加者数：250名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下フリースペースの活用</li> </ul> <p>▶江之子島の歴史と enoco の紹介、収蔵コレクションや事業の紹介等を大型モニターで放映稼働の少ない多目的ルームをこどもたちの居場所づくりの為に活用した。(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター周辺の地域との連携</li> </ul> <p>▶隣接する日本生命病院において、収蔵コレクションを常時展示。(再掲)</p> <p>▶広教連合振興町会への参加</p> <p>毎月、常任理事会に出席し事業チラシの配布、掲示板への掲示を依頼。</p> <p>▶近隣の本田小学校の創立150周年記念事業</p> <p>アーティスト ピストジャム指導のもと巨大かまぼこ板アートを提案・制作。</p> <p>1月の記念式典の際には、巨大かまぼこ板アートをフラッグにして掲揚。</p> <p>■enoco のファンづくり</p> <p>以下のような連携や事業を実施し、enoco の認知度向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪国際文化芸術プロジェクト」との連携</li> </ul> <p>OSAKA INTERNATIONAL ART2025 (@大阪城ホール) にて作品貸出</p>	<p>■メールニュースや SNS の配信を行い、貸室の利用を促進するなど、幅広い層が利用できるような努めている。</p> <p>■利用料の減免については、審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して、不平等な取扱いがないように適切に運営している。</p> <p>■幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するため、アーティスト・イン・レジデンスの実施や、ワークショップに若手アーティストを起用するなど拠点づくりに取り組んでいる。</p>	
---	---	--	---	--	--

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果  ＜評価基準とすべき事項＞ ・魅力的なプログラムの開発 ・接遇研修実施回数・参加者数 ・提案された利用時間延長等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪・関西万博会場内のギャラリーEASTにて、作品26点を貸し出し展示。</li> <li>・「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2025」と連携 建物の見学や建物に関する資料に関する解説パネルの展示。2日間で184名が入場。</li> <li>・「笑い飯哲夫のお正月しめ縄づくり体験教室」 定員：40名。参加費：4,000円。</li> </ul> <p>■アーティスト活動の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティスト・イン・レジデンス (Vol. 3 ESSAP) では、国内外から、昨年の12名を超える15名の応募があった。(再掲) 10月にはVol. 4を募集し選考会を経て1名を採択。2026年4月から6月にかけて滞在予定。</li> <li>・「Osaka Tiny Film Festival 2025」 アーティスト林勇氣氏との共催で開催。林氏が10年前にenocoで撮影した「遠くを見るために」を含め、映画上映、ワークショップ、アーティストトークなど実施。</li> <li>・「こどもアーツカレッジ2025」の実施(再掲) 若手アーティストが講師となり、小学生を対象としたワークショップを実施。 また、子ども達の制作物に加え、講師の作品を展示する展覧会を開催予定。</li> </ul>				
	<p>「次世代への継承・発展」  <b>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</b>                  ■作品発表の機会を提供する等、若手アーティストの活動機会の創出を通じて、文化芸術拠点としての役割を担っているか。</p> <p>■子ども向けのワークショップや、学生向けの鑑賞教室等を実施し、子どもや学生が文化芸術に関心を持つ機会の提供ができていますか。</p> <p>■若手アーティストや地域の子どもたちと連携し、センター内に留まらず江之子島周辺で文化芸術に関する取り組みができていますか。</p> <p> <b>《enocoの歴史を次世代に継承する事業》</b>                  ■江之子島周辺地域の歴史を、建物の魅力を活用し伝えていく取り組みができていますか。</p> <p> <b>【目標値(次世代への継承・発展関連)】</b>                  ◇子どもたちを対象にしたイベント4回以上/年                  ◇アンケート有効回答数 参加者の8割以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上(再掲)</p>	<p>「次世代への継承・発展」  <b>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</b>                  ■アーティスト・イン・レジデンス                  ・Vol. 3 ESSAPの開催と、Vol. 4 ESSAPの募集(再掲)</p> <p>■子ども向けワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもアーツカレッジ2025(再掲) 子どもたちの表現力と創造力を育むことを目的に小学生を対象としたワークショップ。 若手アーティストを講師として実施し、その制作作品及び講師の作品を展示する展覧会を開催。</li> <li>・地下フリースペースに夏休み特別企画で制作した「enocoぬり絵」を設置。</li> </ul> <p>■対話型美術鑑賞「見て・みて・エノコレ！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都芸術大学ACOPの協力を得ながら対話型美術鑑賞授業を実施。 明治小学校4年生：参加者2クラス62名 本田小学校3年生：参加者4クラス135名 西船場小学校4年生：参加者3クラス98名</li> <li>・大阪府立豊中支援学校の花田教諭と連携して対話型美術鑑賞会を実施。 大阪府庁2F、3F COCOAにて実施：参加者17名 enocoにて実施：参加者19名</li> </ul> <p>■「エノコハッピーキャンパス2025」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的に障がいのある中学生から20歳までを対象とした絵画教室。 大阪府立豊中支援学校の花田教諭と連携して実施。 頻度 前期 全5回のプログラムとして月1回のペースで開催。 後期 午前・午後の二部制にて開催。※前期に好評を博し、増設 定員 各5名(参加費：2,500円(全5回分))</li> </ul> <p>■エノコアートラボ(収蔵コレクション作家を招いたワークショップ)</p> <p>2月14日(土) 収蔵コレクション作家である持田総章による「版画ワークショップ」</p> <p>■今後開催予定の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月15日(日)「こどもアーツカレッジ2025展覧会」会期中にワークショップ実施(村田のぞみ)</li> </ul> <p> <b>《enocoの歴史を次世代に継承する事業》</b>                  ■江之子島周辺地域の歴史や建物の魅力の活用                  ・生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2025」と連携(再掲)                  ・江之子島の歴史とenocoの紹介を大型モニターで放映                  ・10月と1月に、市内の小学校の児童たちが学校行事で来館した際に、enocoの建物や歴史について紹介して、ライブラリーのレリーフの見学と説明を行った。(再掲)</p> <p> <b>【実績値(次世代への継承・発展関連)】</b>12月末現在( )内は目標値                  ◇子どもたちを対象にしたイベント18回(6回以上)達成率：300%                  ◇アンケート有効回答数 78%(参加者の8割以上)                  アンケートの結果 プラス評価94%(80%以上)</p>	A	<p> <b>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</b>                  ・「対話型美術鑑賞授業」、「こどもアーツカレッジ」等の子ども向けワークショップが実施できている。                  ・「こどもアーツカレッジ」や「アーティスト・イン・レジデンス」にて、若手アーティストの活動機会の創出を行うことができた。今後も次世代育成について、様々な年代に適した事業を実施していただきたい。             </p>	A	
	<p>「自主事業の実施」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■enocoの収益性を高め、より充実した施設運営を可能とする財源の確保に努めているか。</li> <li>■センター利用者の増加や、enocoの認知度向上に繋がるような事業内容に取り組んでいるか。</li> </ul>	<p>「自主事業の実施」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もりやすバンバンピガロの楽しいART MAGIC ROOMーふしぎな紙袋ー」 参加者 43名</li> <li>・「笑い飯哲夫のお正月しめ縄作り体験教室」 参加者 42名</li> <li>・大阪市立本田小学校150周年記念「巨大かまぼこ板アート制作」(再掲)</li> <li>・「エノコアートラボVol.2 持田総章 版画ワークショップ」を実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き自主事業に取り組み、収益の増加や認知度向上に努められたい。</li> </ul>	A	

I 提案の履行状況に関する項目	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果 ＜評価基準とすべき事項＞ ・魅力的なプログラムの開発 ・接遇研修実施回数・参加者数 ・提案された利用時間延長等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「笑い飯哲夫の楽しい仏教講座」を実施予定。3月18日(水), 25日(水), 31日(火)の全3回、定員50名。空室活用の施策として実施。</li> </ul>					
	(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の程度 ＜評価基準とすべき事項＞ ・点検・補修的的確性、迅速性 ・定期点検の実施状況 ・職員研修の実施回数・参加状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>センタースタッフへの接遇研修や人権研修等を実施し、来館者に対し丁寧な対応ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフへの接遇研修や人権研修等、来館者への丁寧な対応</li> <li>コンプライアンス研修を実施し、人権意識の向上および当事者意識や責任感の向上を図った。研修内容：「人権ポリシーについて」「SNSポリシーについて」</li> <li>スタッフミーティングを行い、パワハラ防止や、接客面での改善点など意見を共有するとともに、利用規定に変更があった際には、利用者に丁寧に説明を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフへの研修や来館者への丁寧な対応が行われている。引き続き利用者サービスの向上に務められたい。</li> </ul>	A	
	(6) 府施策との整合 ＜評価基準とすべき事項＞ ・提案の実施状況 ・就職困難者の雇用状況 ・知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>府の実施する施策等と十分に連携し、効率的かつ効果的な運営を行っているか。</li> <li>府の実施する事業への支援協力を積極的に行っているか。</li> <li>知的障がい者等の現場就業が実現できているか。</li> <li>府が実施する福祉施策・環境施策等に取り組むように努めているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府施策との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪国際文化芸術プロジェクト」との連携（再掲）</li> </ul> </li> <li>府事業への支援協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府の委託事業者が制作、運営しているバーチャルミュージアムについて、資料の提供、内容のチェック、作品撮影の協力、その他相談事項について、協力。</li> <li>大阪府の活用活性化事業について、資料の提供、展示候補作品の確認、その他事項に協力。</li> <li>大阪府の見せる収蔵庫施設の開設に向け、収蔵作品の搬出入など協力。</li> </ul> </li> <li>知的障がい者等の現場就業 <ul style="list-style-type: none"> <li>知的障がい者雇用について、直接雇用の実現をめざし、近隣の放課後等デイサービス及び就労支援B型事業所を運営する事業者と連携し、2024年度より就労移行支援（無償）を毎月継続的に実施。その取組の成果として、2024年度に高校を卒業した1名については、現在、常用雇用を見据え、本人の意向を確認しながら、有償での業務従事を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>府の事業が活性化する中で、府が実施する様々な事業への協力を行っている。</li> <li>知的障がい者の現場雇用について、まだ提案時に示された条件の雇用（週30時間以上、各種保険加入）には達していない。ただし、1日単位での雇用を行うことができている。障がい者本人の意向等を尊重しつつ、提案時の条件での雇用となるよう、引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>引き続き、府が実施する福祉施策や環境施策等との連携に取り組んでいただきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者雇用について、常用雇用には至っていないが、本人の意向を踏まえて慎重に取組みを進めていただいていることは評価する。引き続き検討いただきたい。</li> </ul>
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1) 利用者満足度調査（アンケート調査）等 ＜評価基準とすべき事項＞ ・アンケート等による利用者の意見の把握状況 ・アンケート結果等の運営への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方法でアンケートを実施しているか。また、収集した情報を分析し、フィードバックに努めているか。</li> </ul> <p>【目標値（再掲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数600以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上。</li> <li>◇貸館関連アンケート有効回答数100以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上。</li> <li>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上</li> </ul> <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 館内アンケートボックス（記述式のアンケートを情報コーナー、窓口等に設置）</li> <li>イ QRコードによるWEBアンケート</li> <li>ウ 窓口での聞き取り調査</li> <li>エ イベント等でのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの実施、情報分析、フィードバック</li> <li>多目的ルーム、展示室利用者や、ワークショップ、イベント参加者、来館者にアンケートを実施。特に自由記述のコメントには注意し、適宜運営に反映をしている。</li> <li>問い合わせの多い質問については、HPにFAQとして掲載している。</li> </ul> <p>【実績値（再掲）】12月末現在（ ）内は、目標値</p> <p>＜利用者満足度調査（アンケート）関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数993（600以上） 達成率：166% アンケートの結果 プラス評価87%（80%以上）</li> <li>◇貸館関連アンケート有効回答数78（100以上） 達成率：78% アンケートの結果 プラス評価98%（80%以上）</li> <li>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 達成率：78%（参加者の8割以上） アンケートの結果 プラス評価94%（80%以上）</li> </ul> <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックするために経年の変化・比較が必要となるため、従来の方法に準じ実施している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートを実施し、HPにFAQを作成する等、フィードバックに努めている。</li> <li>「主催展覧会関連アンケート」は、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。</li> <li>「貸館関連アンケート」は、有効回答数は年度末に上回る見込み、プラス評価ともに目標値を上回っている。</li> <li>「子どもを対象としたイベント関連アンケート」は、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っている。</li> </ul>	A	
	(2) その他創意工夫 ＜評価基準とすべき事項＞ ・その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他、サービス向上につながる取組み、創意工夫に努めているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他、サービス向上の取組み、創意工夫</li> <li>60インチの大型モニターで、enocoの歴史や開催イベント、企画展の広報や、子どもの防犯対策に資するクレイアニメを制作し放映している。</li> <li>利用率が低い多目的室(ルーム6)の利用向上の為、下記のとおり、場所の有効活用を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>アーティスト・イン・レジデンスでの作家への制作場所提供</li> <li>アートな自習室(こどもミートルーム)として利用</li> </ul> </li> <li>こどもミートルームでは、こどもたちが入りやすいように目線にあわせた工夫を行っている。</li> <li>7月の七夕に向けて、エントランスに笹を設置。ペンと短冊を用意して、来館者が願い事を自由に飾れるよう手配。たくさんの短冊が飾られた。</li> <li>福祉施設等との連携のもと、「エノコ de 縁日」を実施。（再掲）</li> <li>週末、SNSにて次週の多目的ルームの空き状況を投稿している。（再掲）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の短冊設置や、「こどもぬりえルーム」、「エノコ de 縁日」など、気軽に来館できる取組みが実施できている。</li> <li>次年度以降も、来館者が増加するような仕掛けやサービス向上につながるような取組みを実施していただきたい。</li> </ul>	A	

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	<p>(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業収支の計画に対する妥当性</li> </ul>	<p>■収支の改善に努めるとともに、適正に事業を実施しているか</p> <p>【目標値】 (収入) ◇貸館収入：19,820千円 ◇事業収入：1,500千円 (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：5,500千円 ◇広告宣伝費：1,500千円 ※収支報告の際は、「所蔵作品活用事業費」と「主催・共催事業費」を個別に算出して報告すること。</p>	<p>■収支の改善努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「黒田大スケ展」および「Vol. 3 ESSAP」について複数の団体に助成金を申請した。そのうち「黒田大スケ展」は、花王芸術・科学財団と小笠原敏晶文化財団の助成金に採択された。</li> <li>自主事業「笑い飯哲夫の楽しい仏教講座」を、収支改善及び空室の活用施策として3月に実施。定員：50名、参加費：9,900円(全3回分)。</li> </ul> <p>【実績値】12月末現在( )内は、目標値) (収入) ◇貸館収入：13,252千円 (19,820千円) 達成率：67% ◇事業収入：955千円 (1,500千円) 達成率：64% (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：5,405千円 (5,500千円) 消費率：98% ◇広告宣伝費：1,080千円 (1,500千円) 消費率：72%</p> <p>【今年度(1月～3月)の貸館予約状況】 (収入(予定)) ◇貸館収入：約4,000千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館収入の目標が達成できないことに加え、全体の収支について、収支計画の時点よりも支出が多くなっており、収入と支出の差がかなり乖離した状態となっている。</li> <li>次年度については、貸館収入の増加に向けた取り組みを行うとともに、今年度の実績を精査し、収支計画を立て、事業を実施していただきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>収支状況について、赤字の原因が光熱費の高騰に加え空調の完全稼働に伴う光熱費の増加が主な原因であることは理解したが、貸館事業と自主事業のバランスにも注意しつつ、収支の改善に努めていただきたい。</li> <li>また、そもそもの指定管理料の設定が適切であるのかという観点で、今期に限らず、次期も含めて、府において、状況の改善に努めるべき。</li> </ul>
	<p>(2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に必要な人員数の確保・配置</li> <li>事業実施に必要な人材(要資格者や専門性・技術を要する職員等)の確保・配置</li> <li>従事者への管理監督体制・責任体制</li> <li>従事者への研修実施の状況</li> </ul>	<p>■事業実施に必要な人員数の確保・運営体制・配置になっているか。</p> <p>■従事者への管理監督体制・責任体制は妥当であるか。</p> <p>■職員研修は十分に行われているか。</p>	<p>■必要な人員数の確保・運営体制・配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に必要な人員数を確保し、適切な運営体制を構築・配置している。</li> </ul> <p>■従事者への管理監督体制・責任体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開館時間内は、最低2名が事務所に勤務し、来館者対応が出来る体制を整えるとともに、すべての業務に関して職員・スタッフが相互に補完し合えるよう、マルチスタッフ化を図り運営をしている。</li> <li>また、日常業務の引継ぎ事項については、ビジネス用チャットアプリを使用しスタッフ全員が情報共有できる体制を整えている。</li> </ul> <p>■職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修としてコンプライアンス研修を2回実施しスタッフの人権意識の向上および社会人としての意識の向上に努めた。(再掲)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な人員を確保し、適切に配置することで運営体制を構築している。また、職員研修も実施できている。</li> <li>引き続き、安定的な運営を継続していただきたい。</li> </ul>	A	
	<p>(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人の経営状況</li> </ul>	<p>■共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。(財務諸表により確認)</p>	<p>■共同事業体の経営状況、経営規模、財務状況は、施設運営を担う上で問題のない状況で安定している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定的な経営基盤を築いている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供のあった財務諸表等から、運営上の問題は発見できない。</li> </ul>

<p>&lt;各項目評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S 計画を上回る優良な実施状況</li> <li>A 計画どおりの良好な実施状況</li> <li>B 計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況</li> <li>C 改善を要する実施状況</li> </ul> <p>&lt;年度評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S 項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。</li> <li>A 項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない。</li> <li>B S・A・C以外</li> <li>C 項目ごとの評価のうちCが2割以上。又は、Cが2割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合</li> </ul>	<p>&lt;総合評価(令和7年度)及び最終評価(令和8年度)の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。</li> <li>II 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちBが3割未満で、Cがない。</li> <li>III I・II・IV以外</li> <li>IV 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちCが5割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。</li> </ul> <p>※ 総合評価がIVとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講じることとする。</p>
---	---

年度評価： B

総合評価： III  
(最終評価)

※ 総合評価は、最終年度の前年度(令和7年度)に実施。最終評価は、最終年度(令和8年度)に実施